

令和3年度使用中学校教科用図書

に関する調査報告書

教科名 技術・家庭（家庭分野）

(様式1)

## 教科用図書調査に関する報告書

教科	技術・家庭（家庭分野）
----	-------------

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
2 東書	家庭701	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省のABC順ではなく、生徒の発達段階や実態に即した配列になっている。</li> <li>・生活の営みに係る見方・考え方をイメージした図がわかりやすい。(P9の後)</li> <li>・「めくってみよう パラパラマンガ」があるが、生徒の集中が散漫になる可能性がある。</li> <li>・生活を振り返り、点検する欄が小刻みに点検するようになっている。大切なことではあるが、もう少し大きくとらえたほうが良い。(P12、13)</li> <li>・展開→まとめ(自己評価)まで、ほぼ見開きで完結している。</li> <li>・共食、孤食は取り上げているが、個食も取り上げるべきと考える。(P25)</li> <li>・食品の実物大写真や計量スプーン、火加減、幼児グッズ、子どもの視界体験眼鏡等、ビジュアル資料がよい。(P36～39、226、巻末)</li> <li>・実習の衛生と安全について、科学的な根拠に基づいた実験写真が多くあり、理解しやすい。今後の実習では、従来以上に衛生面で特に配慮しないといけないので、重要である。(P54)</li> <li>・食品成分表とともに、写真が掲載されており、イメージしやすくなっている。(P102～)</li> <li>・取り扱い表示については、旧表示も掲載されており、わかりやすくなっている。(P120)</li> <li>・干し方図や手縫いの基礎(1本取り、2本取りまで)、アイロンかけ(横向き)等の説明が丁寧で、わかりやすい。(P126～131)</li> <li>・ミシンの操作説明が大変わかりやすい。(P138)</li> <li>・「プロに聞く！」は、生徒の興味・関心を高めるのに効果的である。(P284、285)</li> <li>・言葉のページが巻末にまとめられている。</li> <li>・デジタルコンテンツ、生徒の学びを支える「Dマーク」がわかりやすい。(P291)</li> <li>・防災・減災手帳がついているので、様々な場面で活用できる可能性がある。(巻末)</li> </ul>

<p>6 教 図</p>	<p>家庭 702</p>	<p>New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食文化等を振り返りやすい。(口絵 6 頁分)</li> <li>・家族・家庭生活の導入にアニメやマンガを多く利用している為、イメージしやすい。(P12)</li> <li>・思春期である中学生に、家族内の挨拶の大切さやコミュニケーション・ツールの具体例、話法等が掲載されているのがとてもよい。(P19、20)</li> <li>・導入に使われている献立の写真が、現実の食生活に近く、生徒が共感しやすい。(P70、71)</li> <li>・朝食を欠食しやすい生徒にとって、食べる工夫例が簡単なため、浸透しやすい。(P76)</li> <li>・食品成分の図や廃棄率の説明写真がイメージしやすくなっている。(P84)</li> <li>・食品成分表の食品群表記がわかりやすい。(P95)</li> <li>・衛生に関する意識が高まっている現在、ウイルスや細菌の説明が具体的で、わかりやすい。(P111)</li> <li>・主な調理器具例がわかりやすい。(P114)</li> <li>・計量の基礎では、無洗米のカップやデジタルばかりの使い方も掲載されている。また、調味料の重量を生徒が覚えやすく工夫されている。(P118)</li> <li>・身近な卵焼きやおにぎりも掲載されているので生活に生かしやすい。(P147)</li> <li>・地域の食材利用に重点がおかれている。(P151)</li> <li>・和食の特徴が丁寧に解説されており、環境のことにも配慮されている。(P154、155)</li> <li>・様々な和服イラストがあり、生徒にとってイメージしやすい。(P168)</li> <li>・取り扱い表示の説明が簡潔でわかりやすい。またデメリット表示にも触れている。(P174)</li> <li>・日本の伝統的な住まい～各部の名称と意味～がわかりやすく記載されている。(P216)</li> <li>・家庭内事故例は、話し合う資料としては面白いが、やや見にくい。(P226、227)</li> <li>・災害に備えた安全な住まい方の資料が充実している。(P231)</li> <li>・キャッシュレス決済 (P251)、若者の消費者トラブル例 (P257) について 1 頁にわたって、詳しく説明している。</li> <li>・消費者の声で変わった商品例が、消費者の責任の理解を深めると思われる。(P273)</li> <li>・各章毎に自立度チェック欄があるのがよい。</li> <li>・調べてみよう、やってみよう、考えてみよう、話し合ってみよう等、各所に主体的・対話的なワークがある。(P243)</li> <li>・全体に資料写真が豊富である。(巻末)</li> </ul>
------------------	---------------	------------------------------------	--

<p>9 開隆堂</p>	<p>家庭 703</p>	<p>技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドンス10頁部分がとてもわかりやすい。</li> <li>・SDGsは大切な観点であるが、強調されすぎている印象である。(P7)</li> <li>・文章の改行の位置が配慮されており、どの頁もとても読みやすい。</li> <li>・LGBTを取り上げており、大切な視点だが、短時間の学習ではおさえきれない。(P59)</li> <li>・実物大の写真と単なる食品の重量だけではなく可食部の重量付きなのがよい。(P707、71)</li> <li>・体に入った栄養素の行方がわかりやすくインパクトがある。(P78、79)</li> <li>・可食部、廃棄部の写真や簡単な実験写真等で理解しやすくなっている。(P84~87)</li> <li>・カットわかめやヨーグルトの牛乳換算が異なっており、混乱を生じる可能性がある。(P85、89)</li> <li>・牛乳をパック等の200gではなく、210gにした理由がわかりにくい。(P89)</li> <li>・栄養バランスを目で見て判断のページは、写真も大きく、考えさせるのによい。(P94)</li> <li>・食品の流通がわかりやすく記載されている。(P96)</li> <li>・大豆の加工例がわかりやすい。(P101)</li> <li>・五感は大切な内容であり、わかりやすく掲載されている。(P108)</li> <li>・デジタルばかりについて、使用上の説明が必要である。(P110)</li> <li>・材料表のアレルギー表示は、命に関わる為、目立つ黄色にしていると思うが、ややきつすぎる感がある。(P116)</li> <li>・調理方法Q&amp;Aは、わかりやすいが、考える前に解答が見えてしまうのが残念である。(P116)</li> <li>・一汁三菜にこだわらず、一汁一菜・二菜を取り上げている。(P141)</li> <li>・和服と洋服の比較図や帯の参考資料等がわかりやすい。(P167、P169)</li> <li>・エシカル消費は、今後より大切になってくる内容なので、もう少し説明を加えた方がよい。(P256)</li> <li>・日々進化する素材例も表記されている点が知的好奇心をくすぐる。(P179)</li> <li>・布の種類や針、はさみの取り扱いについて丁寧な説明で、理解しやすくなっている。(P196)</li> <li>・暮らしの中のマークを単なる分類とするのではなく、わかりやすくまとめてある。(P244)</li> <li>・「お礼状の書き方」や「手を使ってやってみよう」など、丁寧で、生徒の自主性を高めるのに効果的である。(P286、289)</li> <li>・デジタルコンテンツ内容はとても充実している。</li> <li>・ビジュアル資料の紙面が見やすい。(P88~93)</li> </ul>
------------------	---------------	-----------------------------------	---

(様式2)

## 教科用図書調査に関する報告書

技術家庭（家庭） 観点別評価

「◎」優れている 「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点		選定の観点		東書	教図	開隆堂
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている技術・家庭科（家庭分野）の目標達成に結び付く内容になっているか。	◎	◎	◎	◎
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	◎	◎	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	◎	◎	◎
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
内容	1	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育む工夫がなされているか。	○	◎	○	○
	2	家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる内容となっているか。	◎	◎	◎	◎
	3	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、これからの生活を展望して実践することができる内容となっているか。	◎	◎	◎	◎
	4	調理や製作などの実習や観察・実験、調査等、実践的・体験的な活動が適切に行えるよう、配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	5	消費者市民社会の担い手として、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育む工夫がなされているか。	○	◎	◎	◎
	6	日本の伝統的な生活について考え、日本の生活文化、食文化の良さに気付き、実践することができるよう工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	7	事故防止のために、工具・機器、部品や材料、作業内容に応じた安全や衛生面などに配慮した内容となっているか。	◎	◎	◎	◎
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に相当されているか。	◎	○	◎	◎
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	◎	○	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	◎	◎	◎	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	◎	◎	◎	○